

ス テ ー ジ ア ッ プ

Stage Up

主な記事

- ・人生、大いに楽しもうよ
「川崎スカウトクラブ」
- ・みんなの夢を芽吹かせたい
「かわさき芽吹塾」
- ・“川崎ふるさとの小径”を歩いて
東生田自然遊歩道

詳細・他

- ◆ 施設めぐり
 - ・味の素グループ
うま味体験館
うま味の発信基地
 - ・生田緑地ばら苑
森の中の秘密の花園
- ◆ 財団からのお知らせ
 - ・ふれあいサマーキャンプ報告
 - ・お楽しみコーナー
ほか



COLORS KAWASAKI

「Colorsかわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品と向き合い、ありのままの魅力を感じてもらうことを目指す、(公財)川崎市文化財団が主催する展覧会です。

今年は11月10日(木)～20日(日)10時～18時(最終日のみ12時まで)にミュージアム川崎シンフォニーホール4階企画展示室で開催予定です。

Colors かわさき 展より③ はんざわ まさと さざんか 半澤 真人「山茶花」 2021年 油性ペン、ポスカ

- 葉っぱの線を頑張って描いたので、見てほしいです。(本人)
- 今回は制作にあたり題材に悩まれていましたが、ご家族・職員と一緒に考えて山茶花の絵を描きました。色鮮やかに描いた山茶花と、山茶花の後ろから見える光を様々な色で表現しているところがポイントになっています。(社会福祉法人長尾福祉会 セルプきたかせ スタッフ)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp/ E-mail: stage-up@kpal.or.jp



人生、大いに楽しもうよ 「川崎スカウトクラブ」



▲川崎駅東口 坂本九さんの歌碑の前で

川崎スカウトクラブ(以下「同クラブ」という)は、ボーイスカウト運動の創始者(イギリス人のロバート・ベーデン・パウエル卿)の精神を反映して、「より幸福な生涯を究めて会員同士の体験学習から楽しさを味わい、成果を生かすため、地域社会・スカウト運動に参画する」ことを活動目的として、2009(平成21)年6月2日に発会しました。スカウト運動の経験者だけでなく、だれでも入会・参加できる活動です。現在、40代から80代まで19名の会員の皆さんが、楽しく生き生きと活動しています。

多彩で充実した活動

同クラブの活動内容は、会長、副会長、会計、そして行事部、奉仕部、広報部の代表者が出席する役員会で決定しています。会員の心も体も満足できるよう、行事部の提案に耳を傾け、熱心に意見を交わし合います。

活動内容の一部をご紹介します。

秋のお楽しみは『収穫祭』、川崎市黒川青少年野外活動センターで、野外炊事を楽しみます。会員の創作料理や得意料理が並び、食べて、笑って、実りの秋を満喫します。川崎市が主催する多摩川美化活動など、地域にかかわる活動もしています。

谷本通安会長の巻頭言、投稿文や活動報告等で構成され、年3回発行されている機関誌『杖(じょう)』は、今年の9月20日で40号になりました。

2013(平成25)年には、山梨県甲州市から東京都大田区まで、多摩川に架かる110の橋を調査した『橋から端まで—多摩川の橋を訪ねて—』を発行。多摩川全域を網羅したこの報告書は、会員が手分けして現地調査を実施し、橋の歴史なども調べ、2年かけてまとめあげました。



◀役員会の様子

見て知って、楽しいウォーキング

4月の土曜日、同クラブの『川崎区ウォーキング』に同行しました。本来は令和3年の新春ウォーキングとして企画していましたが、コロナ禍で2回の延期。念願がかなってようやく実施できたと、会員の皆さんはとても嬉しそう。

手渡された行程表を見ると、川崎駅を出発して、東海道かわさき宿交流館、六郷橋(六郷の渡し・明治天皇の碑)、大師線港町駅(美空ひばり・港町十三番地歌碑)、川崎河港水門、若宮八幡宮・金山神社、京急発祥の地記念碑・川崎大師駅、川崎大師表参道、川崎大師平間寺、大師公園、瀋秀園、大師河原干潟館・大師河原水防センター、大師橋、大師線大師橋駅(旧産業道路駅)で乗車して、京急川崎駅で解散と、盛りだくさん。計画歩行距離は約7kmです。

行程表にも目的地ごとの簡単な解説が記載されていますが、目的地に到着すると、その場所に造詣が深い会員が詳しく解説してくれて、「なるほど」「知らなかった」の連続。見て楽しく、知って楽しいウォーキング。

「仲間と一緒にだから、いろいろ学び合えるし、おしゃべりしながら、これだけの距離が楽しく歩いてしまう」と、全員が元気に歩き切りました。



▲川崎河港水門
水門上部には川崎の特産品の梨・桃・ぶどうのレリーフ



▲京急発祥の地(川崎大師駅)記念碑



▲川崎大師 真言宗智山派大本山 金剛山金乗院平間寺

心豊かな毎日を、仲間と一緒に

「とにかく楽しむということ。定年後もみんな輝き、心豊かに毎日を送ろうよという会です。会員は皆、職業などの背景が違って、経験豊かな方が多く、話題も豊富。本当に楽しい会ですよ」と話す谷本会長は、動きも軽やか、声にも張りがあります。仲間と一緒にあれこれ考え、行動することで、身体も心も頭も健康で、生き生きと過ごしている同クラブの皆さん。誰でもウェルカム、新入会員募集中とのことですので、ご興味を持たれた方は、問い合わせしてみたいかがでしょうか。

■問合せ

川崎スカウトクラブ 事務局 わたなべ いさお
電話：090-5499-1280
メールアドレス：
ciao.14125@kce.biglobe.ne.jp

みんなの夢を芽吹かせたい 「かわさき芽吹塾」



かわさき芽吹塾(めぶきじゅく以下「同塾」という)は、さまざまな理由で学習塾に通うことができない中学生や高校生に、大学生を中心としたボランティア講師が勉強を教える無料塾です。高津区や中原区の会場で、毎週土曜日の夜に開講しています。

何もできないコロナ禍だから始められた

代表の吉沢春陽さんは、高校時代から貧困問題に関心があり、海外でのボランティア活動を希望していました。ところが、高校卒業を前に新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、大学入学時には緊急事態宣言が発出され、それどころではなくなっていました。それでは、日本にいて何かできることはないだろうかと考える中で、吉沢さん自身が塾の講師に人生を変えてもらったと感謝していること、塾講師のアルバイトの経験があることから、学習支援のボランティア活動を思い立ったそうです。

「親に言われてイヤイヤ塾に通っている子もいれば、やる気があっても塾に通えないため、勉強がわからない子も多くいる。勉強がしたくても十分にできない子どもたちをサポートしたい」と、高校時代の部活動(バレーボール部)の仲間である副代表の菊水優太さんに打ち明けて、2021(令和3)年5月、手探りで活動を開始しました。二人の活動に賛同した部活仲間が加わり、さらにSNSを通して輪が広がって、立ち上げから1年経った現在、生徒は35人、ボランティアは45人の大所帯となりました。自分で同塾を見つけて申し込んできた中学生など、生徒は皆やる気に満ち、近隣からだけでなく、川崎市全域から集まっています。

生徒一人ひとりに合わせた学習支援

取材した日の会場は高津市民館の会議室。室内には、真剣に学習に取り組む中高生と、それを見守る講師の皆さんの姿がありました。生徒と講師のマンツーマンだったり、生徒2人に講師が1人ついていたり、個別指導塾のようなスタイルです。ボランティア講師はそれぞれ自分の得意科目の学習を受け持ち、生徒一人ひとりに合わせた内容の支援をしています。中高生にとって、ちょっと年上の先輩である大学生が講師ということで、親しみやすく気軽に学習相談ができるという利点もあるようです。



◀授業の様子

喜びと課題

活動するためには、会場使用料を支払ったり、学用品を購入するなど、資金が必要です。寄付を募ったり、スポンサー企業を探したりといった苦労があります。大学3年生の講師が多いので、活動を引き継いでもらうため、下の代の講師を確保していくことも課題としてあります。

ボランティア講師の楽しみや魅力を聞くと、「生徒の成績が伸びた時」「やる気がある生徒ばかりで教えがいがある」「生徒たちの学校はバラバラだけど、この塾を通して仲良くしている状態がすごくいい」「コロナ禍でサークルにも入れず、人とつながるチャンスがなかった。この活動に加わって新たなコミュニティが見つかり、充実した学生生活を送ることができている」という答えが返ってきました。

助け合いの連鎖を

「食品ロスが問題となっている一方で、一日に一食しか食べられないという子もいます。また、家族の世話に追われて勉強する時間も睡眠時間も十分にとれないヤングケアラーの問題もあります。食糧支援や、生活環境を整える活動も行っていきたい。貧困の連鎖ではなく、人に支えられた経験を忘れずに、自分に余裕ができたなら、かつて自分がしてもらったように困っている人を助けようとするような、良い連鎖ができるといいですね」と、吉沢さんは照れくさそうな笑顔でこれからの夢を語っていました。

同塾ホームページのブログで“卒業生メッセージ”を読むと、「人の役に立てるような人になりたいから」「自分の未来に向けて、今を全力で楽しみ、周りの人のために積極的に動き、“ありがとう”と“ごめん”の感謝を言える大人になりたい」とありました。講師の皆さんの蒔いた種が、芽吹きつつあるようです。

自己実現と社会貢献が同時にかなうかのような同塾の活動。キラキラした目の若者たちを応援したくなった方、詳しく知りたくなった方は、ぜひ同塾のホームページをご覧ください。



▲ボランティア講師の皆さん

■問合せ

かわさき芽吹塾(無料塾)のホームページ
お問い合わせフォームからご連絡ください

<https://mebuki-gakushushien.com>



特集

“川崎ふるさとの小径”を歩いて 東生田自然遊歩道

記録的な暑さとなった今年の夏を乗り越え、お散歩に適したさわやかな季節がやってきました。

今回ご紹介するのは、野鳥と古寺を訪ねる「東生田自然遊歩道」。読売ランド前駅から向ヶ丘遊園駅までの約6.5キロ、4～5時間のコースです。NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』にも登場した稲毛三郎重成ゆかりの地も含まれている、多摩丘陵のアップダウンがある道のり。一日で歩き切るのではなく、何日かに分けて、じっくり散策するのもよいかもしれません。

軽く準備運動をして、さあ、出発！

— 徒歩ルート — 道標 絵かんばん 休憩所・手洗所

1 八角堂跡（寺尾台第2公園）



寺尾台廃堂跡は、昭和26・27・43年の3年にわたって発掘調査されました。

この八角堂基壇は、発掘調査の成果をもとにして、復元されました。基壇の平面の形が直径9メートルの八角形であることから、建物も小型の八角堂で、その建立の時期は、屋根を葺いた瓦の年代から、平安時代初期（9世紀前後）と推定されます。



「どちらかな？」と迷いそうな場所には、このように案内板が設置されています。

2 土淵不動院



本堂右側の閻魔堂には、口角が上がった、なんだか楽しそうな閻魔大王がお座りになっています。

3 生田配水池と展望スペース

高台に位置する生田配水池からは、ポンプ等を使わずに自然流下方式で市内に飲み水を供給しています。



展望スペースもあり、東京スカイツリー、新宿副都心やサンシャイン 60 まで広大な景色を見渡しながらほっと一休み。夜景スポットとしてもおすすめです。生田配水池までは、218 段の階段と、なだらかな上り坂と、2通りの行き方があります。健脚自慢はぜひ階段で！



4 稲毛山廣福寺



廣福寺は、枳形城主・稲毛三郎重成の館跡といわれており、門には「稲毛領主菩提寺 稲毛館跡」と書かれた扁額（へんがく）が懸けられています。本堂は350年前、江戸時代前期の建物です。愛妻家として知られる重成公。大河ドラマ『鎌倉殿の13人』でも、妻（北條政子の妹）の三回忌供養で相模川に橋を架け、橋供養を執り行う場面がありました。観音堂の裏には、重成の墓といわれる五輪塔と妻の墓が並んで伝えられています。

5 天神社



古く『江戸名所図会(すえ)』には韋駄天社と記されています。足の速い神として知られる韋駄天。箱根駅伝出場チームが祈願に訪れることもあるそうです。

8 長者穴横穴古墳群



飯室山の北麓に築かれた横穴墓群は、『新編武蔵風土記稿』にも「長者の穴」として紹介されており、古くから人々に知られていました。川崎市教育委員会が実施した発掘調査の結果、多摩丘陵の基盤層である飯室層と呼ばれる比較的硬い泥岩の地層に、30基以上の横穴墓が群集して発見されました。発掘調査では埋葬された人の歯や骨のほか、装飾品や武器が発見されました。

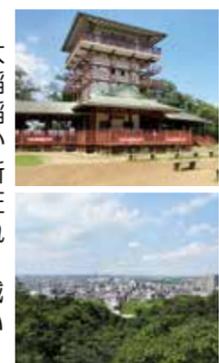
7 飯室山



飯室山には枳形城の出城（見張りを兼ねる）があったといわれています。飯室山広場からはスカイツリーが見え、展望が特に良いときには筑波山も見えます。遠く、広く見渡すことができ、鎌倉幕府の北を守る重要な城であったことが伺えます。

6 枳形山

多摩丘陵の広大で肥沃な武蔵稲毛荘（川崎市・稲城市）を頼朝から安堵（土地所有を承認し保証すること）された稲毛重成は、この地に枳形城を築城したといわれます。令和元年にリニューアルされた舞台づくりの展望台では、360度の景色を楽しめます。今年7月23・24日には「鎌倉殿の重臣 稲毛重成パネル展」が開催されました。



▼ 川崎ふるさとの小径 『ガイドマップ 川崎散歩ゆるり旅』

発行：川崎市 建設緑政局緑政部 みどり・多摩川協働推進課



川崎市では、市域に残存する身近な自然とふれあいながら遺跡・史跡の歴史的資源をめぐるとともに、ふるさとの緑への関心を市民の皆様様に深めていただくために、昭和53年より「川崎ふるさとの小径」のコースの設定をはじめました。

遊歩道ガイドマップは各区役所等で配布しています。川崎市のホームページからもご覧いただくことができます。



味の素グループ うま味体験館

京浜急行大師線「鈴木町駅」から 徒歩 1 分

うま味の発信基地



◀「うま味体験館」外観

可愛らしいアジパンダ®の足跡で駅から誘導



5つの基本味(甘味・酸味・塩味・苦味・うま味)の1つである「うま味(UMAMI)」。2013(平成 25)年に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、「うま味」も注目され、世界各地に広がっています。味の素グループの「うま味体験館」は、味の素KK川崎事業所の創立100周年を記念し、地域社会とのさらなる共生を目指して2015(平成 27)年に開館しました。今や私たちの食生活に欠かせない存在となっている「うま味」についての情報を発信しています。

楽しみながら「うま味」に触れる

もともと1階は予約なしで見学できたのですが、コロナ禍の今は工場見学を予約した方のみ入館できます。予約時間の30分前から入館できますので、うま味調味料「味の素®」の歴史を楽しく学びながら、見学前の予習をしてはいかがでしょうか。味の素グループの原点、『おいしく食べて健康づくり』という創業の志に触れ、レトロなパッケージデザインの展示品などを見ているうちに、ワクワク感が高まります。

1階には他に、うま味調味料「味の素®」のバイオサイクルのジオラマ、4面スクリーンを使って味の素グループのうま味やアミノ酸について紹介するシアターもあります。

2階には、工場見学の際に使用する施設、My「アジパンダ®」瓶(6g)がつくれる体験ルーム、料理教室や試食体験用のキッチンスタジオがあります。

隣接する川崎工場と連携して実施している工場見学には、うま味体験館からアジパンダ®バスに乗って向かいます。



▲シアター
360度ぐるりと見まわしながら解説を聞きます。サトウキビ畑の場面では、風がサーッと頬を撫で、まるで畑の真ん中にいるようです。



▲最新の展示
約2年かけて開発された、破れにくく、湿気にも強い、安心して扱える紙パッケージ。

アジパンダ®

幅広い年齢層に人気の工場見学

川崎工場は、日本国内の味の素グループの工場のうち、もっとも古い工場です。京急大師線鈴木町駅を中心に、東京ドーム8個分に相当する約370,000㎡の敷地内にあり、「味の素®」や「ほんだし®」「Cook Do®」といった主力製品の製造工場から物流センターまでを備えた、いわば味の素グループの心臓部です。製品の製造・出荷の工程を学ぶだけでなく、さまざまな体験ができる工場見学コースを実施していて、幅広い年齢層に人気となっています。その一つをご紹介します。

「クノール®」スープコース



アジパンダ®バスに乗って、110年も前から稼働している川崎工場の景色を味わいながら、「クノール®」スープ工場に到着。



この工場見学では、「コーンクリームスープ」や「スープDELI®」の製造工程の見学のほか、コーンの収穫を疑似体験したり、巨大なシアターでコーン収穫の様子をダイナミックに鑑賞したりします。また、ゲームで工場の仕事を体験など、身体を動かしながら、素材へのこだわり、おいしさの秘密を楽しく学ぶことができます。



「おいしく食べて健康づくり」を

分かりやすく発信

取材当日に案内して下さった鈴木貢介さんは、「工場見学に訪れるお客さまは年齢層が幅広いので、シンプルに、分かりやすくを心がけて、小学5年生くらいをメインターゲットとして考えた発信の仕方をしています。また、ここで事業をできているのは地域の皆さまのおかげです。地域の方々に愛される施設でありたいし、隣接する川崎工場は鈴木町(味の素グループ創業者・二代鈴木三郎助に由来する地名)のシンボルなので、工場と連携して、地域に貢献できるようにしていきたいです」と話していました。「おいしく食べて健康づくり」で、地域もみんなもハッピーに♪

■工場見学に関するお問い合わせ

味の素KK 川崎工場
フリーダイヤル 0120-003-476
午前9時から午後4時
(火曜日～土曜日)

ホームページ
↓

ご予約の際は、ホームページで最新の情報をご確認ください。



多摩区

生田緑地ばら苑

(正面ゲートまで) 小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口から 徒歩 13 分
JR 南武線「宿河原駅」から 徒歩 15 分

森の中の秘密の花園



向ヶ丘遊園駅からローズピンクの看板に誘導されて進み、色とりどりのバラに囲まれたばら苑アクセスロードを抜けると、生田緑地ばら苑の正面ゲートに到着。そこから木々の間を7分ほど登ると目の前が開け、様々な品種のバラが豊かな香りを放つ非日常の空間が現れます。生田緑地ばら苑は、小田急向ヶ丘遊園の閉園に伴い、園内に整備されたばら苑の存続を求める多くの市民の声に答えて、2002(平成14)年に川崎市が引き継いだものです。生田緑地の中に位置するばら苑は、周囲を多摩丘陵の樹林地に囲まれ、360度の緑のパノラマと清涼な空気が体感できる「秘密の花園」として親しまれ、バラの開花時にあわせて、春と秋の年2回開苑しています。



▲看板

ばら苑の歴史

ばら苑の歴史は古く、開苑は1958(昭和33)年にさかのぼり、当時は「東洋一のばら苑」と賞されました。苑内にはバラ文化の豊かさを示す代表的な四季咲き大輪種(HT・ハイブリッドティー)、四季咲き中輪種(FL・フロリバンダ)や、つるバラ(CL・クライミングローズ)、四季咲き小輪種(Min・ミニチュア)などが植栽されています。2008(平成20)年には開苑50周年を迎え、新たにイングリッシュローズコーナーを整備しました。その後、オールローズガーデンを新たに整備し、2018(平成30)年の開苑60周年には、日本ばら会の認証を得て、春は805種6,296株、秋は625種2,916株と確認しました。



パパメイアン
プリンセスミニチュ

秋のおすすめ

秋は春に比べると花色が深く、香りも強くなります。おすすめは濃い赤色のバラで、俗に黒バラと呼ばれているバラです。その中でも同じ交配親(クライスラインペリアルとシャルルマルラン)を持つ黒バラ三兄弟(パパメイアン、オクラホマ、ミスターリンカーン)は、ダマスク系の香り。それぞれ独特な香りの違いを楽しんでください。

人の手に支えられて

除草、剪定、誘引(支柱などに植物の枝や茎・つるを結びつける園芸作業)、施肥、ばら苑の美しさは、たくさんの「人の手」によって支えられています。市民ボランティアの皆さんの貢献は、「生田緑地ばら苑」の大きな特色となっています。

「春、秋の開苑が終わるとすぐ次の開苑に向けて作業が始まります。1年を通して除草は必須です。いちばんはじめに除草した花壇は、苑内を一巡する頃には、また雑草に覆われてしまいます。そのため除草作業は延々と続きます。それでも除草後はやり切った満足感でいっぱいです」とボランティアスタッフは話します。

生田緑地ばら苑の入苑料は無料ですが、バラの育成・管理の向上、来苑者へのサービスの向上をめざして、公開期間中、ばら苑募金箱にて「ばら苑募金」を受け付けています。市民の皆さんも、募金という形でばら苑のバラ育成に関わることができます。皆さんも、来苑の際にはぜひご協力を!



▲来苑者は募金で応援

愛情たっぷりに育ったバラを楽しんで

秋の公開期間は10月中旬頃を予定しています。日程が決まり次第、生田緑地ばら苑のホームページや公式ブログでお知らせがあります。公式ブログには、鮮やかなバラ、可憐なバラの写真がいっぱい。公開期間中、毎日現地の様子を発信しています。



公式ブログへ

最後に、生田緑地ばら苑スタッフの皆さんからのメッセージです。「この数年、コロナ禍で開苑時に来苑者の方々と接触ができないため残念に思っています。受付作業やボランティアガイドの折に、皆さまにばら苑の素晴らしさを知っていただきたくて努力してきました。これから先いつ元通りになれるか分かりませんが、バラは私たちの愛情で育っています。是非ご覧ください」



◀ばら苑アクセスロード
市民ボランティアグループ「ばら苑アクセスロード花壇ボランティアの会」が管理する川沿いの散歩道。ばら苑までの道中も、バラがいっぱいです。

■生田緑地ばら苑

多摩区長尾2丁目8番1号ほか(旧 向ヶ丘遊園内)

開苑期間中の問合せ

ばら苑管理事務所

電話:044-978-5270

(午前8時30分~午後4時)

開苑期間外の問合せ

川崎市 建設緑政局緑政部みどりの管理課

電話:044-200-2394

(土曜・日曜・祝日を除く、午前8時30分~午後5時)

ホームページ



川崎市青少年地域間交流事業

ふれあいサマーキャンプ報告 3年ぶりに 行ってきました！



7月の下旬から8月の中旬にかけて、友好自治体である島根県益田市、岩手県花巻市、長野県富士見町の3コースで、ふれあいサマーキャンプを3年ぶりに実施することができました。

宿泊や体験活動になかなか触れることのできない日々が続いていたこともあり、3コースとも定員を大幅に超える申し込みをいただき、抽選の結果、参加者が決まりました。

どのコースも天候に恵まれ、予定した日程をすべて行うことが出来ました。残念ながら、感染対策のため、地元の小・中学生との交流等は実施することができなかつたのですが、受け入れてくれた自治体の方々の心のこもったおもてなしを受けました。それぞれの地域の自然や文化に基づいた様々な体験活動を用意していただいたので、個人ではなかなか触れることのできない豊かな活動を体験することができ、貴重な夏の思い出をつくれたのではないのでしょうか。

川崎市内全域の様々な小中学校から応募して参加しますので、最初の集合場所では緊張した様子が見られましたが、すぐに打ち解け、話し合いやおしゃべりを楽しそうに行っていました。子ども同士で協力してグループで活動して、一緒に体験し、食事を作り上げ、キャンドルファイヤーの出し物を考え、発表する姿が印象的でした。

来年も、今年以上の体験ができるようふれあいサマーキャンプを行う予定ですので、今年参加できなかった子どもたちを含め、多くの方の参加をお待ちしています！

益田市コース



川遊びや海遊びを満喫し、テント泊のキャンプ体験や火を起こしての自炊体験、迫力ある演技を観た後、衣装や面を身につけられた石見神楽体験などに歓声をあげていました。

花巻市コース



宮沢賢治記念館の見学から始まり、和紙すき、農作業、さき織、カヌーボートなど様々な体験活動に夢中になって取り組んでいました。

富士見町コース



ナイトハイクで夜の闇の暗さを知り、ハイキングで急坂を登り、川俣渓谷で自然観察や川遊びをするなど、多くの自然とのふれあい体験をしました。

【お詫びと訂正】

「Stage Up」242号に掲載しました次の文章に、誤りがありました。

■1ページ
Colors かわさき展より②
八木志基「魔人大戦」
2021年 水性ペン
作者のコメント



(正)

立ち向かう3人の戦士をメインに中央に描き、周りの魔人たちが遠くから襲ってきたり、上部分には雷を放つ邪神をラスボスとして迫力を大きく表現しました。これまで描いてきた作品よりポスターになりそうな遠近感を生み出すことができました。とある暗闇で邪神が魔人を率いて3人の戦士と戦っているところを思い浮かんで描きました。(本人)

(誤)

立ち向かう3人の戦士をメインに中央に描き、周りの魔人たちが遠くから襲ってきたり、上部分には雷を放つ邪神をラスボスとして迫力を大きく表現しました。これまで描いてきた作品よりポスターになりそうな親近感を生み出すことができました。とある暗闇で邪神が魔人を率いて3人の戦士と戦っているところを思い浮かんで描きました。(本人)

深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。

◆お楽しみコーナー

Stage Up 243号クイズに答えよう!

生田緑地ばら苑は、小田急〇〇〇〇の閉園に伴い2002年に川崎市が引き継ぎました。

下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『〇〇〇〇の閉園』 ※ヒントp.7

【応募方法】

- ①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
- ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2022年11月14日(月)必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆242号のクイズの答え・・・メガスター